

本件の対外公表は  
10月21日8時50分

2020年10月21日  
日本銀行金融機構局

## 主要銀行貸出動向アンケート調査 <2020/10月>

回答期間：2020年9月9日～2020年10月12日

調査対象数：50行庫（詳細は最終頁の注1を参照）

### I. 資金需要動向（質問1.～6.）

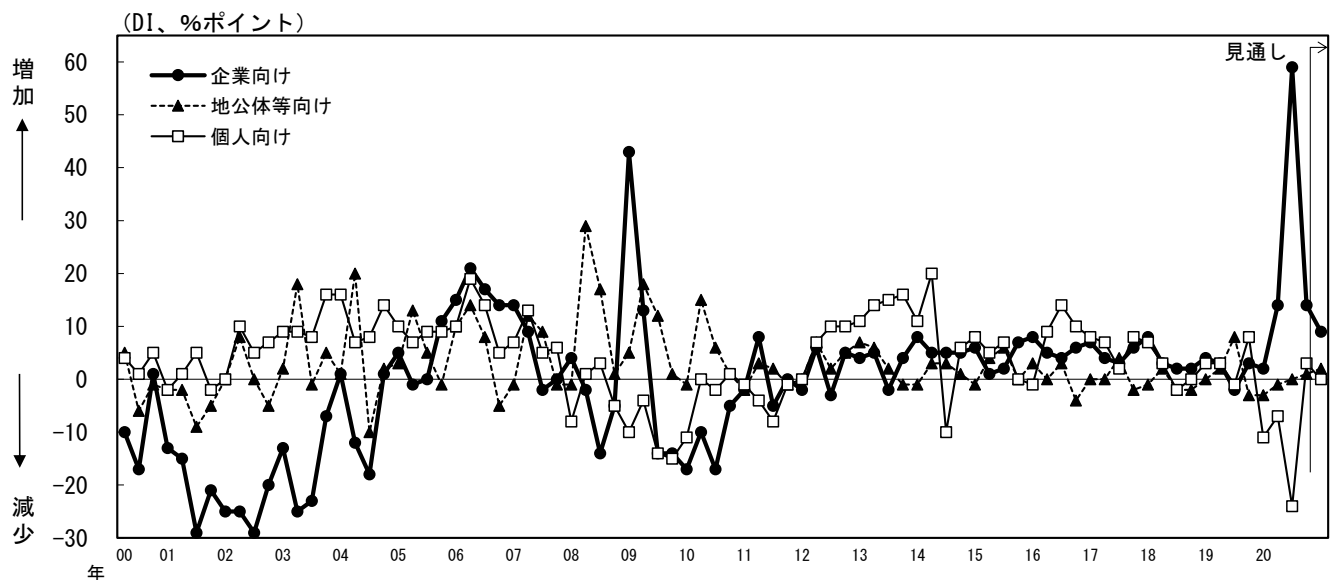
1. 過去3ヶ月間において、「企業向け」、「地公体等向け」、「個人向け」の資金需要がどのように変化したか。

	資金需要判断 D.I. (%ポイント)	(前回)
企業向け	14	59
地公体等向け	1	0
個人向け	3	-24

回答金融機関数（下段は構成比）					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
3	14	27	6	0	50
6%	28%	54%	12%	0%	
0	2	47	1	0	50
0%	4%	94%	2%	0%	
0	6	41	3	0	50
0%	12%	82%	6%	0%	

\* 資金需要判断D.I. = (「増加」とした回答金融機関構成比 + 0.5 × 「やや増加」とした回答金融機関構成比) - (「減少」とした回答金融機関構成比 + 0.5 × 「やや減少」とした回答金融機関構成比)。以下、質問2.、質問4.、質問6.において同じ。

### 主体別資金需要判断



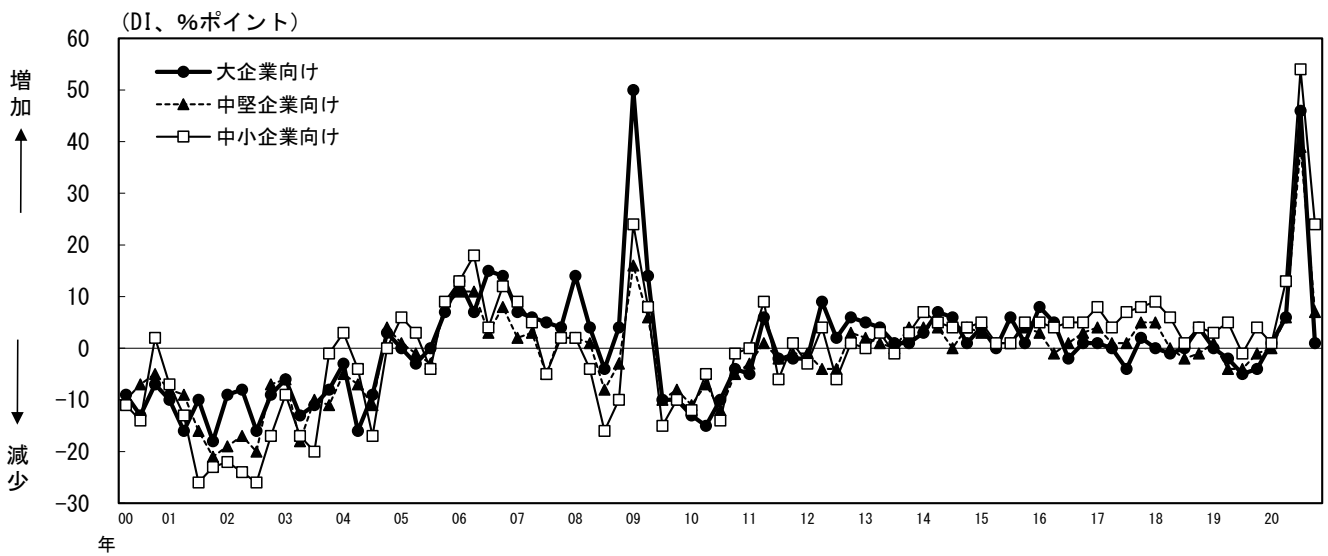
\* 見通しは、質問6.を参照。

2. 「企業向け」のうち、規模別および業種別にみた資金需要の変化。

<全体>	資金需要判断 D.I. (%ポイント)	(前回)
大企業向け	1	46
中堅企業向け	7	39
中小企業向け	24	54

回答金融機関数 (下段は構成比)					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
1	7	33	8	0	49
2%	14%	67%	16%	0%	
2	8	35	5	0	50
4%	16%	70%	10%	0%	
5	17	25	3	0	50
10%	34%	50%	6%	0%	

企業規模別資金需要判断<全体>



<製造業>	資金需要判断 D.I. (%ポイント)	(前回)
大企業向け	0	52
中堅企業向け	11	47
中小企業向け	19	48

回答金融機関数 (下段は構成比)					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
1	9	30	7	2	49
2%	18%	61%	14%	4%	
2	12	32	3	1	50
4%	24%	64%	6%	2%	
1	20	26	3	0	50
2%	40%	52%	6%	0%	

<非製造業>	資金需要判断 D.I. (%ポイント)	(前回)
大企業向け	-2	41
中堅企業向け	7	39
中小企業向け	24	51

回答金融機関数 (下段は構成比)					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
1	6	32	10	0	49
2%	12%	65%	20%	0%	
3	8	33	5	1	50
6%	16%	66%	10%	2%	
5	17	25	3	0	50
10%	34%	50%	6%	0%	

<建設・不動産>	資金需要判断 D. I. (%ポイント)	(前回)
大企業向け	5	27
中堅企業向け	-1	21
中小企業向け	20	31

回答金融機関数（下段は構成比）					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
1	7	37	4	0	49
2%	14%	76%	8%	0%	
2	4	38	3	3	50
4%	8%	76%	6%	6%	
4	15	28	3	0	50
8%	30%	56%	6%	0%	

<金融・保険>	資金需要判断 D. I. (%ポイント)	(前回)
大企業向け	-2	15
中堅企業向け	6	9
中小企業向け	-2	7

回答金融機関数（下段は構成比）					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
1	4	37	6	1	49
2%	8%	76%	12%	2%	
2	3	44	1	0	50
4%	6%	88%	2%	0%	
0	7	35	7	1	50
0%	14%	70%	14%	2%	

<その他非製造業>	資金需要判断 D. I. (%ポイント)	(前回)
大企業向け	3	45
中堅企業向け	8	43
中小企業向け	25	57

回答金融機関数（下段は構成比）					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
3	6	32	7	1	49
6%	12%	65%	14%	2%	
4	7	33	5	1	50
8%	14%	66%	10%	2%	
5	19	22	4	0	50
10%	38%	44%	8%	0%	

3. a. 質問2.において、全体の資金需要の変化に対する回答を「増加」あるいは「やや増加」とした場合、資金需要が増加した要因は何か（規模別にお答え下さい）。

<判断スケール> 重要 <3> やや重要 <2> 重要でない <1>

	大企業向け	中堅企業向け	中小企業向け
	平均値	平均値	平均値
①売上の増加	1.00	1.00	1.05
②設備投資の拡大	1.00	1.00	1.09
③資金繰りの悪化	2.50	2.40	2.64
④手許資金の積み増し	2.88	2.60	2.64
⑤他の調達手段からのシフト	1.13	1.10	1.00
⑥貸出金利の低下	1.13	1.00	1.23
⑦その他	1.50	1.90	1.77
回答数	8	10	22

\* 「平均値」は、「判断スケール」をウェイトとし、ウェイト×回答金融機関構成比を合計したもの（加重平均値）。以下、質問3. b.、質問5.、質問8.において同じ。

3. b. 質問2.において、全体の資金需要の変化に対する回答を「やや減少」あるいは「減少」とした場合、資金需要が減少した要因は何か（規模別にお答え下さい）。

<判断スケール> 重要 <3> やや重要 <2> 重要でない <1>

	大企業向け	中堅企業向け	中小企業向け
	平均値	平均値	平均値
①売上の減少	1.13	1.40	2.00
②設備投資の減少	1.25	1.40	1.67
③資金繰りの好転	1.38	1.20	1.33
④手許資金の取崩し	1.50	1.40	1.33
⑤他の調達手段へのシフト	1.75	1.60	1.33
⑥貸出金利の上昇	1.00	1.00	1.00
⑦その他	1.63	2.00	2.33
回答数	8	5	3

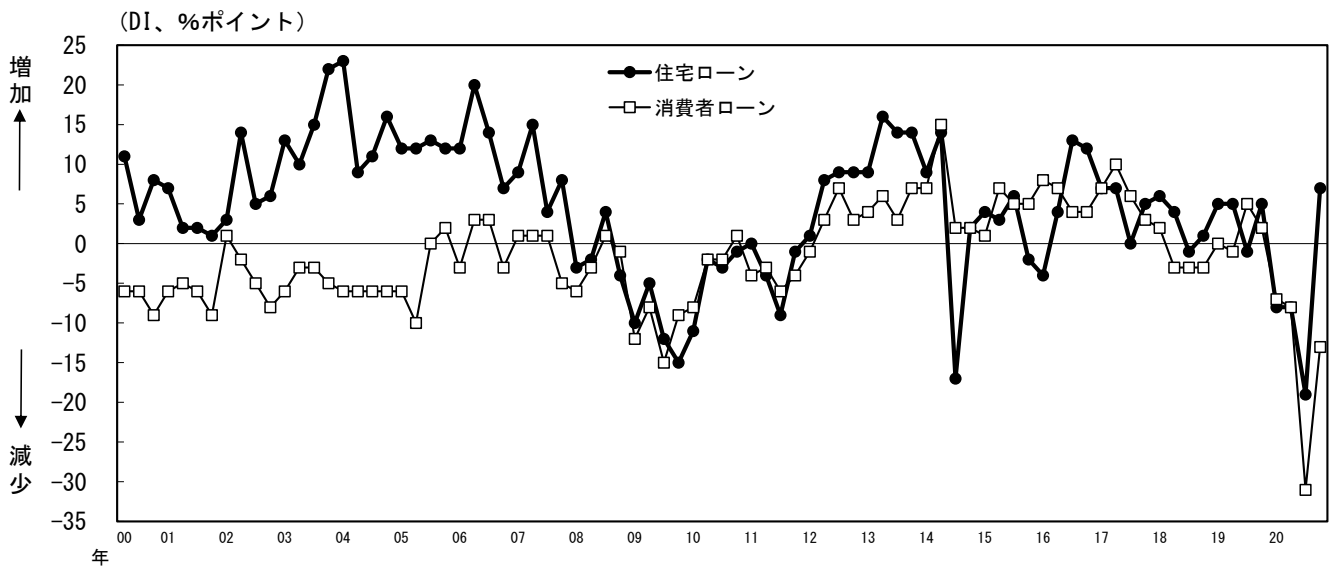
4. 「個人向け」のうち、住宅ローン、消費者ローンの資金需要の変化。

	資金需要判断 D. I. (%ポイント)	(前回)
住宅ローン	7	-19
消費者ローン	-13	-31

回答金融機関数（下段は構成比）					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
0	9	39	2	0	50
0%	18%	78%	4%	0%	
0	2	35	11	2	50
0%	4%	70%	22%	4%	

\* 資金需要判断D. I. の算出方法は、質問1. の\*印を参照。

個人向け資金需要判断



5. a. 質問4.において、資金需要の変化に対する回答を「増加」あるいは「やや増加」とした場合、資金需要が増加した要因は何か。

<判断スケール> 重要 <3> やや重要 <2> 重要でない <1>

	住宅ローン	消費者ローン
	平均値	平均値
①住宅投資の拡大	1.67	1.00
②個人消費の拡大	1.33	1.50
③個人所得の減少	1.11	1.50
④貸出金利の低下	1.11	1.00
⑤その他	2.11	2.00
回答数	9	2

\* 平均値の算出方法は、質問3. a. の \* 印を参照。

5. b. 質問4.において、資金需要の変化に対する回答を「やや減少」あるいは「減少」とした場合、資金需要が減少した要因は何か。

<判断スケール> 重要 <3> やや重要 <2> 重要でない <1>

	住宅ローン	消費者ローン
	平均値	平均値
①住宅投資の減少	2.50	1.15
②個人消費の減少	2.50	2.38
③個人所得の増加	1.50	1.08
④貸出金利の上昇	1.00	1.00
⑤その他	1.00	1.69
回答数	2	13

6. 今後3ヶ月間において、「企業向け」、「地公体等向け」、「個人向け」の資金需要がどのように変化するとの見通しを持っているか。

	資金需要判断 D. I. (%ポイント)	(前回)
企業向け	9	29
地公体等向け	2	2
個人向け	0	-6

回答金融機関数（下段は構成比）					合計
増加	やや増加	横這い	やや減少	減少	
0	12	35	3	0	50
0%	24%	70%	6%	0%	
0	2	48	0	0	50
0%	4%	96%	0%	0%	
0	3	44	3	0	50
0%	6%	88%	6%	0%	

\* 資金需要判断D. I. の算出方法は、質問1. の \* 印を参照。

## II. 貸出運営スタンス、利鞘設定の変化（質問7.～13.）

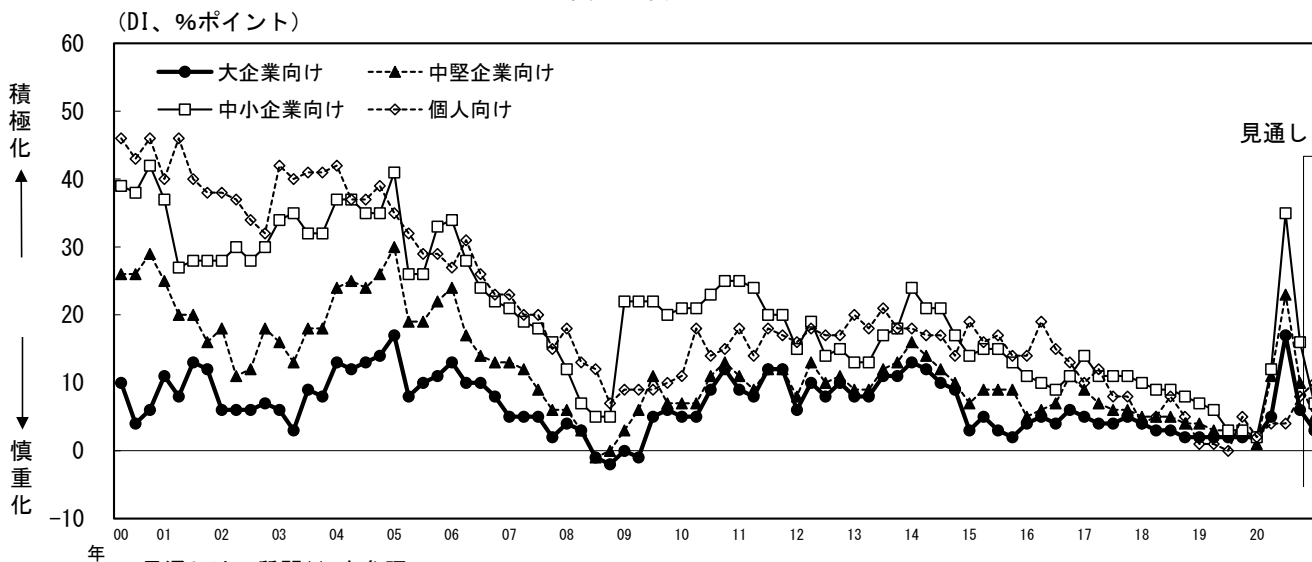
7. 過去3ヶ月間において、「企業向け（規模別）」、「個人向け」の貸出運営スタンスをどのように変化させたか。

	貸出運営スタンス D. I. (%ポイント)	(前回)
大企業向け	6	17
中堅企業向け	10	23
中小企業向け	16	35
個人向け	8	4

回答金融機関数（下段は構成比）					合計
積極化	やや積極化	ほぼ不変	やや慎重化	慎重化	
2	2	45	0	0	49
4%	4%	92%	0%	0%	
3	4	43	0	0	50
6%	8%	86%	0%	0%	
4	8	38	0	0	50
8%	16%	76%	0%	0%	
3	2	45	0	0	50
6%	4%	90%	0%	0%	

\* 貸出運営スタンスD. I. = (「積極化」とした回答金融機関構成比+0.5×「やや積極化」とした回答金融機関構成比) - (「慎重化」とした回答金融機関構成比+0.5×「やや慎重化」とした回答金融機関構成比)。以下、質問11.において同じ。

貸出運営スタンス



\*見通しは、質問11.を参照。

8. a. 質問7.において、企業向け（規模別）の貸出運営スタンスの変化に対する回答を「積極化」あるいは「やや積極化」とした場合、積極化させた要因は何か。

<判断スケール> 重要 <3> やや重要 <2> 重要でない <1>

	大企業向け	中堅企業向け	中小企業向け
	平均値	平均値	平均値
① 自行の資産内容の好転	1.25	1.14	1.17
② 経済見通しの好転	1.25	1.14	1.17
③ 特定業種・企業の業況(業績)好転	1.25	1.14	1.17
④ 他行との競合激化	1.75	1.43	1.33
⑤ 他業態との競合激化	1.75	1.43	1.33
⑥ 直接市場調達との競合激化	1.25	1.14	1.17
⑦ ALM上のリスク許容度の上昇	1.25	1.14	1.17
⑧ 成長分野への取り組み強化	2.25	1.71	1.50
⑨ その他	2.75	2.71	2.75
回答数	4	7	12

\* 平均値の算出方法は、質問3. a. の \* 印を参照。

8. b. 質問7.において、企業向け（規模別）の貸出運営スタンスの変化に対する回答を「やや慎重化」あるいは「慎重化」とした場合、慎重化させた要因は何か。

<判断スケール> 重要 <3> やや重要 <2> 重要でない <1>

	大企業向け	中堅企業向け	中小企業向け
	平均値	平均値	平均値
① 自行の資産内容の悪化	n. a.	n. a.	n. a.
② 経済見通しの悪化	n. a.	n. a.	n. a.
③ 特定業種・企業の業況(業績)悪化	n. a.	n. a.	n. a.
④ 他行との競合緩和	n. a.	n. a.	n. a.
⑤ 他業態との競合緩和	n. a.	n. a.	n. a.
⑥ 直接市場調達との競合緩和	n. a.	n. a.	n. a.
⑦ ALM上のリスク許容度の低下	n. a.	n. a.	n. a.
⑧ その他	n. a.	n. a.	n. a.
回答数	0	0	0

9. 過去3ヶ月間において、「企業向け（規模別）」について、以下に掲げる貸出条件をどのように変化させたか。

	貸出条件設定D. I. (%* イント)		
	大企業向け	中堅企業向け	中小企業向け
① 信用枠（拡大＝緩和）	5	5	6
② 利鞘設定（縮小＝緩和）	1	1	2
③ 借り手の信用リスク評価	2	2	5
④ 担保設定	2	2	3
回答数	49	50	50

\* 貸出条件設定D. I. = (「緩和」とした回答金融機関構成比 + 0.5 × 「やや緩和」とした回答金融機関構成比) - (「厳格化」とした回答金融機関構成比 + 0.5 × 「やや厳格化」とした回答金融機関構成比)。以下、質問12.において同じ。

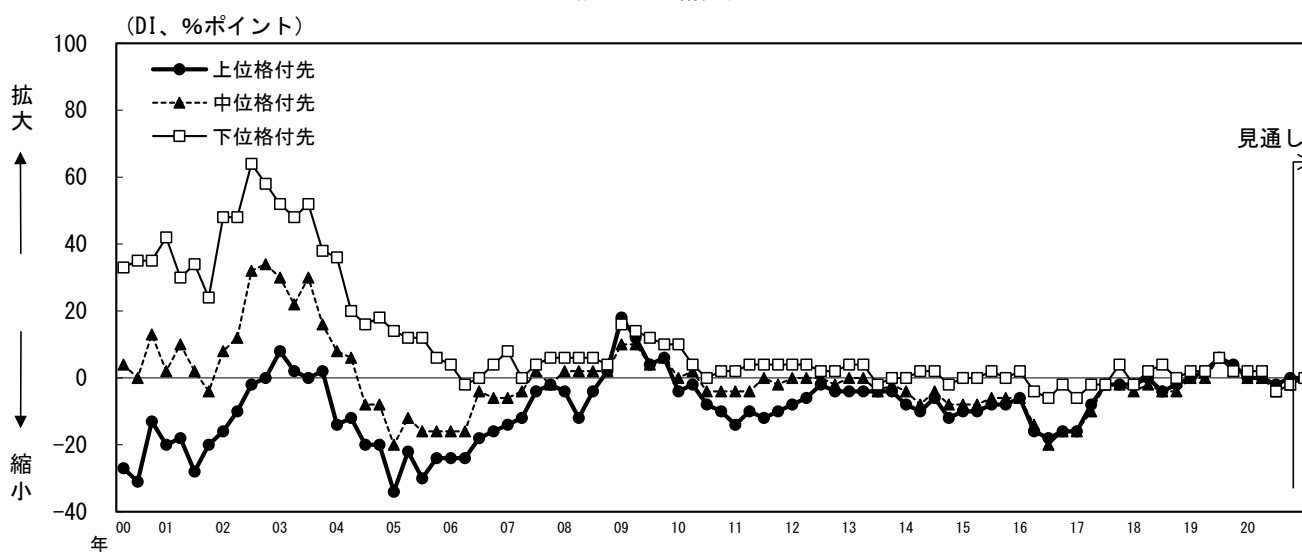
10. 過去3ヶ月間において、「企業向け」のうち、格付別（上位・中位・下位）にみた利鞘設定をどのように変化させたか。

	利鞘設定 D. I. (%ポイント)	(前回)
上位格付先	0	-2
中位格付先	-2	-4
下位格付先	-2	-4

回答金融機関数（下段は構成比）			合計
拡大	横這い	縮小	
1	47	1	49
2%	96%	2%	
1	46	2	49
2%	94%	4%	
1	46	2	49
2%	94%	4%	

\* 利鞘設定D. I. = 「拡大」とした回答金融機関構成比 - 「縮小」とした回答金融機関構成比。以下、質問13.において同じ。

格付別利鞘設定



\* 見通しは、質問13.を参照。

11. 今後3ヶ月間において、「企業向け（規模別）」、「個人向け」の貸出運営スタンスをどのように変化させる方針か。

	貸出運営スタンス D. I. (%ポイント)	(前回)
大企業向け	3	11
中堅企業向け	5	13
中小企業向け	7	21
個人向け	10	7

回答金融機関数（下段は構成比）					合計
積極化	やや積極化	ほぼ不変	やや慎重化	慎重化	
2	0	46	1	0	49
4%	0%	94%	2%	0%	
2	2	45	1	0	50
4%	4%	90%	2%	0%	
2	4	43	1	0	50
4%	8%	86%	2%	0%	
3	4	43	0	0	50
6%	8%	86%	0%	0%	

\* 貸出運営スタンスD. I. の算出方法は、質問7.の\*印を参照。



12. 今後3ヶ月間において、「企業向け（規模別）」について、以下に掲げる貸出条件をどのように変化させる方針か。

	貸出条件設定D. I. (%ポイント)		
	大企業向け	中堅企業向け	中小企業向け
①信用枠（拡大＝緩和）	2	3	5
②利鞘設定（縮小＝緩和）	1	1	2
③借り手の信用リスク評価	-1	-1	1
④担保設定	2	2	3
回答数	49	50	50

\* 貸出条件設定D. I. の算出方法は、質問9. の\*印を参照。

13. 今後3ヶ月間において、「企業向け」のうち、格付別（上位・中位・下位）にみた利鞘設定をどのように変化させる方針か。

	利鞘設定 D. I. (%ポイント)	(前回)	回答金融機関数（下段は構成比）			合計
			拡大	横這い	縮小	
上位格付先	0	0	1 2%	47 96%	1 2%	49
中位格付先	0	-2	1 2%	47 96%	1 2%	49
下位格付先	0	-2	1 2%	47 96%	1 2%	49

\* 利鞘設定D. I. の算出方法は、質問10. の\*印を参照。

注)

- 1) 本調査は、日本銀行と取引のある国内銀行（一部先を除く）および信用金庫のうち、貸出残高（2016年度期中平残）の上位50先の協力を得て実施。国内銀行および信用金庫の貸出残高全体（2019年度期中平残）に占める調査対象50先の貸出シェアは76%。
- 2) 「個人」には、個人企業は含まない。
- 3) 「地公体等向け」は、公務としての都道府県、市町村のほか、それぞれの直営事業（交通、水道、電気、ガス、病院等）を含む。
- 4) 企業規模別の分類は、以下のとおり。
  - ・「大企業」：資本金10億円以上、かつ常用従業員300人（「卸売業」、「サービス業」は100人、「小売業」、「飲食店」は50人）超の法人。
  - ・「中小企業」：資本金3億円以下または常用従業員300人以下（卸売業は資本金1億円以下または常用従業員100人以下、小売業、飲食店、サービス業は資本金5,000万円以下または常用従業員50人以下〈サービス業は100人以下〉）の法人および個人企業。
  - ・「中堅企業」：大企業、中小企業以外の法人。
- 5) 「上位格付」、「中位格付」、「下位格付」については、各行の内部格付に則して、各行の判断・分類で回答。目安としては、国内長期債格付AAA～BBB＝上位格付、BB～B＝中位格付、CCC以下＝下位格付。

以 上

照会先：金融機構局 金融データ課 預貸金統計グループ Tel：03-3277-1581